

哲学思想基本研究Ⅳ (その2)

2単位 2年(後期)

石田三千雄・教授/人間文化学科

【授業目的】ヘーゲルの『法(権利)の哲学』を読みながら、市民社会や国家のあり方について考える。

【授業概要】欲求の体系としての市民社会とはいったいどのような仕組みで成り立っているのか、社会における、司法活動、法律とはいかなるものであるのか、国家の制度とはいかなるものか、この授業ではこれらの問題を考える手がかりを、ヘーゲルの『法(権利)の哲学』に求め、現代の社会や国家のあり方について考える。

【キーワード】ヘーゲル、市民社会、国家

【関連科目】『哲学思想基本研究Ⅰ(その2)』(0.5)、『哲学思想基本研究Ⅲ(その2)』(0.5)

【履修上の注意】演習形式で授業を進めるので、演習時間毎に予習が不可欠である。学生諸君の積極的な準備と参加・発表を期待する。

【到達目標】社会や国家とは何か、等について自分で考え、討論することができる。

【授業計画】

1. 1 ガイダンス
2. 2~3 市民社会について(8):訴訟手続き
3. 4~5 市民社会について(9):福祉行政
4. 6~7 市民社会について(10):貧困
5. 8~9 市民社会について(11):職業団体
6. 10~11 国家について(1):国家の概念
7. 12~13 国家について(2):国家の理念
8. 14 国家について(3):国内公法
9. 15 レポートの課題提示
10. 16 総括授業

【成績評価】毎回の出席状況、意見発表を基本に評価し、学期末に簡単なレポートを課す。

【再試験】実施しない

【教科書】授業の時に資料を配付する。

【参考書】ヘーゲル『法の哲学』Ⅱ(中公クラシックス)

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218890>

【連絡先】

⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィス
アワー: 水曜 14時~15時)

【備考】本年度開講せず、平成24年度開講